

デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) は、デザインを人々の日常生活に採り入れ、より豊かに生きることを提案しています。またデザインやアートの持つ、既存概念にとらわれない自由な視点で、多種多様な人々の交流から生まれるアイデアや工夫により、社会的な問題を解決していく、+クリエイティブという手法を実践するプログラムを開催しています。2016年1-2月に開催する催事をご案内いたしますので、取材や掲載のご協力いただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

enoco×KIITO×BRITISH COUNCIL 「課題解決に向けたアートとデザインの役割と可能性」 文化芸術における効果測定と評価に関するスペシャルセッション 開催

アートやデザインのプロジェクトが最大の効果を発揮するためには、関わる人たちが、活動が目指すインパクト（変化や効果）について論理的な道筋を描き、その進捗を適切に検証し、アートとデザインが社会にもたらす価値を明確に示すことが求められます。

そこで、プロジェクトの評価モデル開発において世界的に定評のある英国のコンサルティング会社 abdi から講師を招き、文化芸術における効果測定と評価に関するフォーラムとワークショップを開催します。3日間のスペシャルセッションを通して、社会におけるアートやデザインの役割と可能性を見つめなおすとともに、プロジェクトの効果測定・評価の必要性を理解し、その理論と手法を備えて、今後の活動に役立てていただくことを目指します。

クリエイティブフォーラム「アートとデザインプロジェクトの未来形」

| 日時 | 2016年1月22日(金) 18:00-21:00

| 会場 | 大阪府立江之子島文化芸術創造センター (大阪市西区江之子島2丁目1番34号) | 参加費 | 1,000円

| 定員 | 80名 (要申込、先着順、定員に達し次第受付終了)

| 申込み | 2015年12月25日(金) 11:00よりウェブサイト (<http://kiito.jp/>) にて申込み受付開始

| 講師 | ジェーン・マッシー (CEO abdi Ltd.) ※日英逐次通訳あり

| ナビゲーター | 永田宏和 (デザイン・クリエイティブセンター神戸 副センター長)、甲賀雅章 (大阪府立江之子島文化芸術創造センター 館長)

| 内容 | アートプロジェクトを取り巻く多様な課題と評価モデルを導入する意義、評価モデルの基本概念について、事例を交えながらご紹介いただきます。その後、アートやデザインがもたらすインパクトやその評価方法について議論を深めます。

| 主催 | デザイン・クリエイティブセンター神戸、大阪府立江之子島文化芸術創造センター、ブリティッシュ・カウンシル

ワークショップ「社会改革を起こすプロジェクトデザイン」

| 日時 | 2016年1月23日(土)、24日(日) 10:00-16:30

| 会場 | デザイン・クリエイティブセンター神戸 | 参加費 | 5,000円 (2日間) ※昼食をご持参ください

| 定員 | 40名 (要申込、お申し込み多数の場合は抽選を行い、メールにて結果を通知させていただきます)

| 申込み | 2015年12月25日(金) 11:00より2016年1月15日(金) 19:00まで

ウェブサイト (<http://kiito.jp/>) にて申込み受付

| 講師 | ジェーン・マッシー (CEO abdi Ltd.) ※日英逐次通訳あり

| 内容 | 実践的なグループワークを通して評価モデルへの理解を深めつつ、明確な目標と評価指標に基づいたプロジェクトをデザインできるようになることを目指します。

| 主催 | デザイン・クリエイティブセンター神戸、大阪府立江之子島文化芸術創造センター、ブリティッシュ・カウンシル

お問合せ：デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当

〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4 TEL 078-325-2235 FAX 078-325-2230

開館時間 9:00-21:00 入館料無料 休館日 月曜日 info@kiito.jp <http://kiito.jp/>

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）は、デザインを人々の日常生活に採り入れ、より豊かに生きることを提案しています。またデザインやアートの持つ、既存概念にとらわれない自由な視点で、多種多様な人々の交流から生まれるアイデアや工夫により、社会的な問題を解決していく、+クリエイティブという手法を実践するプログラムを開催しています。2016年1-2月に開催する催事をご案内いたしますので、取材や掲載のご協力いただけますよう、何卒よろしくご依頼申し上げます。

Tajima Meets Kobe トークイベント 「但馬の食材と、神戸のシェフの出会い」

神戸の料理人が但馬の食材を調理する、但馬の食材の魅力を語るイベント開催



但馬の生産者による新鮮でおいしい但馬の食材の販売と、神戸を中心とした関西の料理人による特別メニューを販売する1日限りのフードマーケット「Tajima Meets Kobe」が開催されます。

その関連企画として、フードマーケット会場内にて、神戸のイタリアンと和食の料理人が但馬の食材を中心に使用した調理の実演とあわせて、但馬の食材の魅力を語るトークを開催します。

●第1部「イタリアン料理から見る、但馬の食材」

| 日時 | 2016年2月11日（日）13:00~13:40

| ゲスト | 奥本浩史（オステリア アランチエート オーナーシェフ）、他 但馬の生産者

●第2部「日本料理から見る、但馬の食材」

| 日時 | 2016年2月11日（日）15:00~15:40

| ゲスト | 上野直哉（玄斎 店主）、他 但馬の生産者

| ナビゲーター | 光岡大介（兵庫食べる通信 編集長）

| 会場 | KIITO 1F ギャラリーA | 参加費 | 無料 | 定員 | 50名（事前申込不要）

| 主催 | デザイン・クリエイティブセンター神戸

| 共催 | Tajima Meets Kobe 実行委員会、全日本・食学会、一般社団法人ノオト

関連情報 フードマーケット「Tajima Meets Kobe」

| 日時 | 2016年2月11日（日）11:00~16:00（出店飲食店のラストオーダーは15:30）

※各店舗、料理・商品がなくなり次第、販売終了

| 会場 | KIITO 1F KIITO ホール、ギャラリーA | 参加費 | 無料（事前申込不要）

| 主催 | Tajima Meets Kobe 実行委員会（担当 福原悟史、中原大輔）

| 共催 | デザイン・クリエイティブセンター神戸 | 協力 | 全日本・食学会、一般社団法人ノオト

| 問合せ | tmk.kiito@gmail.com

お問合せ：デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当

〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4 TEL 078-325-2235 FAX 078-325-2230

開館時間 9:00-21:00 入館料無料 休館日 月曜日 info@kiito.jp <http://kiito.jp/>

デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) は、デザインを人々の日常生活に採り入れ、より豊かに生きることを提案しています。またデザインやアートの持つ、既存概念にとらわれない自由な視点で、多種多様な人々の交流から生まれるアイデアや工夫により、社会的な問題を解決していく、+クリエイティブという手法を実践するプログラムを開催しています。現在進行中のプログラムをご案内いたしますので、取材や掲載のご協力いただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

KIITO アーティスト・イン・レジデンス 2015 に 写真家の長島有里枝氏を招聘、滞在制作を開始しました



2015 年度の KIITO アーティスト・イン・レジデンス招聘作家として、写真家の長島有里枝氏を迎え、滞在制作を 10 月末日より開始しました。

長島氏は、自身の家族がヌードになったセルフ・ポートレートのシリーズで賞を受賞して注目を集め、以後も国内外で活躍する写真家です。近年は執筆活動も手がけ、初の文章による作品集『背中の記憶』(2009) は三島由紀夫賞候補になり、講談社エッセイ賞を受賞しました。一貫してモチーフには「家族」の存在があります。

今回は、神戸で、「服」を素材にした新作の制作に挑戦します。滞在制作中に、神戸の女性たちに取材し、物々交換や写真撮影を条件に古着を集め、その服を素材に、キャンプなどで使われるタープ (日よけ) を制作します。そのタープと、制作過程で撮影された写真やテキストを構成した作品は、2016 年 6 月に KIITO にて行う成果発表展で展示します。本作は、同時期に東京で実母との共同制作で作るテントと対をなす作品となる予定です。

社会を漠然として大きいものと捉えるのではなく、1 人 1 人から、その手仕事からできていると認識することは、忙しい現代に生きていくと、棚に上げてしまいがちかもしれません。長島というひとりの女性をとりまく関係性、そのまっすぐな交感の試みを見つめることによって、受け取ることができるものは大きいでしょう。



| 制作期間 | 2015 年 10 月 31 日 (土) ~ 2016 年 3 月 31 日 (木)

| 招聘作家 | 長島有里枝 (写真家)

| 主催 | デザイン・クリエイティブセンター神戸

| 関連企画 | 2016 年 3 月: トークイベント、2016 年 6 月: 成果発表展 (予定)

●作家プロフィール

長島有里枝 (ながしま・ゆりえ)

1973 年東京生まれ。1993 年、武蔵野美術大学在学中に制作した作品が『アーバナート#2 展』でパルコ賞を受賞、写真家として注目を集め始める。1999 年、California Institute of the Arts MFA 修了。2000 年、写真集『Pastime Paradise』(マドラ出版) で第 26 回木村伊兵衛写真賞受賞。2010 年、初のエッセイ集『背中の記憶』(講談社) で第 23 回三島由紀夫賞候補、および講談社エッセイ賞を受賞。写真集に『SWISS』(2010, 赤々舎)、『5 comes after 6』(2014, bookshop M) など。

お問合せ: デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当

〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町 1-4 TEL 078-325-2235 FAX 078-325-2230

開館時間 9:00-21:00 入館料無料 休館日 月曜日 info@kiito.jp http://kiito.jp/

デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) は、デザインを人々の日常生活に採り入れ、より豊かに生きることを提案しています。またデザインやアートの持つ、既存概念にとらわれない自由な視点で、多種多様な人々の交流から生まれるアイデアや工夫により、社会的な問題を解決していく、+クリエイティブという手法を実践するプログラムを開催しています。2016年1-2月に開催する催事をご案内いたしますので、取材や掲載のご協力いただけますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

被災地の「こえ」を丹念に拾った記録の集積

小森はるか+瀬尾夏美 巡回展 波のした、土のうえ in 神戸 開催



岩手県の沿岸に位置する陸前高田という町で、津波のあとの時間を暮らした映像作家の小森はるか、画家で作家の瀬尾夏美。

— 私たちはただただ、日々変わっていく風景を目の当たりにしながら、陸前高田の人びとに話を聞かせてもらいながら、4年間の移り変わりのかたわらに身を置き続けました。私たちの作品は、この土地と、この土地に生きる人びとの声を拾おうとする一連の行為の集積と言えるかもしれません。同時にそれらが土地の記録の一部となり、声を届ける媒体になろうとする「表現」のひとつの形となるように、と考えています。「波のした、土のうえ」。津波のあとに残された痕跡とそこに宿る人びとの記憶を、素手で収集しつづける一連の行為の集積が、大津波から5年目の今年、1年かけて日本の各地を巡回します。併せてリサーチプロジェクト「阪神・淡路大震災+クリエイティブ タイムライン マッピング プロジェクト」展示を行います。

| 日時 | 2016年1月9日(土) — 1月31日(日) 11:00-19:00 ※休館日: 1月12日(火)、18日(月)、25日(月) | 会場 | KIITO 2F ギャラリーC | 参加費 | 入場無料 (一部イベントは有料) | 申込み | 2016年12月22日(火) 14:00よりウェブサイト (<http://kiito.jp/>) にて申込み受付開始 | 主催 | 小森はるか+瀬尾夏美 | 共催 | デザイン・クリエイティブセンター神戸 | デザイン | 浅田大輔 | 展示設営 | 酒井耕 | 記録 | 細谷修平 | 助成 | 公益財団法人朝日新聞文化財団、企業メセナ協議会 GBfund、公益財団法人野村財団 | 協力 | 趙純恵、せんだいメディアテーク3が11にちをわすれないためにセンター、てつがくカフェ@せんだい、一般社団法人 NOOK

●会期中イベント

- ・2016年1月9日(土) 14:00-16:00 トークイベント①
登壇者: 酒井耕 (映画監督)、濱口竜介 (映画監督)、小森はるか+瀬尾夏美
司会: 清水チナツ (せんだいメディアテーク学芸員)
- ・2016年1月15日(金) 19:00-21:00 トークイベント②
登壇者: 高森順子 (阪神大震災を記録しつづける会事務局長)、田中範子 (神戸映画資料館支配人)、小森はるか+瀬尾夏美
- ・2016年1月16日(土) 17:00-19:00 トークイベント③
登壇者: 阿部裕美 (元陸前高田災害FMパーソナリティ)、金千秋 (FM わいわい総合プロデューサー)、小森はるか+瀬尾夏美
- ・2016年1月24日(日) 13:00-17:30 シネマてつがくカフェ
ファシリテーター: 西村高宏 (福井大学 准教授) グラフィック: 近田真美子 (東北福祉大学 講師)
- ・2016年1月30日(土) 11:00-17:00 トークイベント④
登壇者: 鷺田清一 (哲学者、せんだいメディアテーク館長)、小森はるか+瀬尾夏美
司会: 久保田テツ (大阪大学 CSCD 特任准教授)

※詳細については、KIITOWeb サイトよりご確認ください。 (<http://kiito.jp/>)

お問合せ: デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当

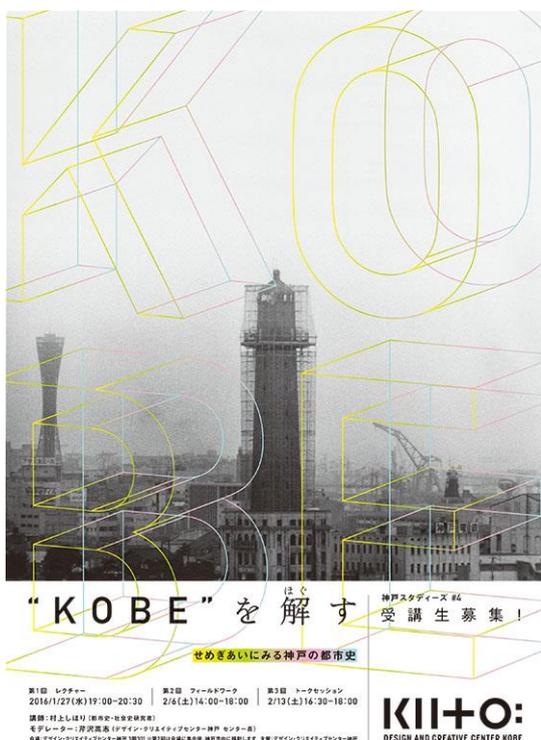
〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4 TEL 078-325-2235 FAX 078-325-2230

開館時間 9:00-21:00 入館料無料 休館日 月曜日 info@kiito.jp <http://kiito.jp/>

デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIIITO) は、デザインを人々の日常生活に採り入れ、より豊かに生きることを提案しています。またデザインやアートの持つ、既存概念にとらわれない自由な視点で、多種多様な人々の交流から生まれるアイデアや工夫により、社会的な問題を解決していく、+クリエイティブという手法を実践するプログラムを開催しています。2016年1-2月に開催する催事をご案内いたしますので、取材や掲載のご協力いただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

神戸スタディーズ#4

「『KOBE』を解(ほぐ)すーせめぎあいにもみる神戸の都市史」 開催



2013年の開催以来となるレクチャーシリーズ「神戸スタディーズ」の#4を開催します。全3回で構成される今回は、近現代神戸の都市史を専門とする、研究者の村上しほりさんをお招きして、「KOBE」というまちに抱くイメージを、まちの痕跡や人びとのつながりを手がかりに解(ほぐ)してみます。

都市(まち)はまるで生きているかのように、日々変わり続けています。神戸の都市空間は、第二次世界大戦の前後、占領期、経済成長、震災などの大きな契機に加え、さまざまな人びとのくらしの営為によっても姿かたちを変えてきました。今回は、わたしたちの暮らす神戸のなりたちをきっかけに、まちを歩き、感じ、語り合い、都市空間の読み方を、広い視野で学ぶ機会としたいと思います。

●プログラム

- 第1回 (1/27) レクチャー「概論：近現代神戸 都市(まち)のなりたち・人びとのくらし」
- 第2回 (2/6) フィールドワーク「商業のまち・復興のまち 三宮」
- 第3回 (2/13) トークセッション 「過去から未来へ：まちの変わる契機(モメント)」

| 日時 | 2016年1月27日(水) 19:00-20:30、2月6日(土) 14:00-18:00、2月13日(土) 16:30-18:00 全3回

| 会場 | KIIITO 3F 301 ※第2回は会場に集合後、神戸市内に移動します | 参加費 | 無料

| 定員 | 各回25名(要申込、先着順、定員に達し次第受付終了)

| 申込み | 12月25日(金)11:00よりウェブサイト (<http://kiito.jp/>) にて申込み受付開始

| 講師 | 村上しほり(都市史・社会史研究者) | モデレーター | 芹沢高志(デザイン・クリエイティブセンター神戸 センター長)

| 主催 | デザイン・クリエイティブセンター神戸

●講師プロフィール

村上しほり(むらかみ・しほり)

都市史・社会史研究者／人と防災未来センター 震災資料専門員／神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 研究員
1987年 神戸市出身。2014年神戸大学大学院修了。博士(学術)。語り継がれなかった地域の形成経緯と変容の契機に着目し、戦災復興過程・占領期の神戸に関する都市史を研究。共著に『盛り場はヤミ市から生まれた』(青弓社、2013年)、論文に「三宮東地区「三宮国際マーケット」の形成と変容過程についてー戦後神戸におけるヤミ市と市街地形成に関する史的研究」(『日本建築学会計画系論文集』第78巻第693号、2013年)など。

お問合せ：デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当

〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4 TEL 078-325-2235 FAX 078-325-2230

開館時間 9:00-21:00 入館料無料 休館日 月曜日 info@kiito.jp <http://kiito.jp/>